

標ヲ立ラル○註 此時ハ猶三國ナリシニヤ、此後胸刺ノ國ノコト寥然トシテ聞エズ、是ヨリ八世

ノ朝ヲ歷テ、繼體天皇ノ御時、國造一族互ニ職ヲ爭シコトアリ○中 事勢ヲ想像スルニ、當時既ニ

胸刺國ヲ廢シテ武藏ニ入シナラン、此時天下ニ畿内七道ヲ置レシ時、當國ハ東山道ニ隸セシナ

リ○中 靈龜元年五月○中 庚戌當國以下六國ノ富民ヲ陸奥ニ移サル○註 二年五月辛卯、高麗郡

ヲ置カル○中 神護慶雲元年十二月、足立郡人大部直不破麻呂等ニ、改テ武藏宿禰ノ姓ヲ賜ヒ、又

不破麻呂ヲ國造トセラル○中 寶龜二年十月、東山道ヲ改テ東海道ニ屬セラル○中 天慶元年○註

略 國司ト郡司トノ爭起シヨリ、遂ニ平將門ガ亂ヲ釀成ス○中 將門誅ニ伏シテ後、恩賞行ハレ、藤

原秀郷、平貞盛、源經基等、英雄相繼テ當國ノ守ニ任ズ、是此國坂東ノ大國ニシテ、其守ニ任ズルコ

ト、尤規模トスレバナルベシ、サレバ治績モ愈新ニ、國務モ違期ノ失ナカリシナラン、然ニ大寶以

來、年所ヲ經テ、功田不輸ノ地域世々ニ多ク、公武買得ノ庄園年々ニ加ハル、遂ニ班田公平ノ法ヲ

廢墜セシムルニ至リ、各門戶ヲ立、各莊園ヲ有ス、其尤著名ナルハ武藏七黨ト號ス、曰橫山○註 曰

猪俣○註 曰野與○註 曰村山○註 曰西○註 曰兒玉○註 曰丹治○註 是皆古ノ良民ニシテ、後世ノ

鄉士ナリ、當時京師ノ大番ヲ勤メ、或ハ武者所瀧口トナリ、或ハ牧監別當トナリ、歸テ各家門ノ面

目トス、是ヨリ先永承中ニ、奥州安倍賴時、及男貞任謀反セシ時、源賴義朝臣鎮守府將軍トシテ征

伐ス、尋テ其嫡男義家朝臣鎮守府將軍タリシ時、又武衛家衡亂ヲナス、當時當國ノ諸士、皆將軍父

子ニ從テ多ク武名ヲ著ス○註 故ヲ以義家將軍ノ嫡孫左馬頭義朝朝臣、鎌倉龜谷○註 二在テ源

家ノ棟梁タリシ時、當國ノ諸士皆心ヲ寄ス、義朝死シテ後、三男賴朝卿配謫シテ伊豆國ニアリ、永

曆ヨリ治承ニ至マデ二十年ニ及ブ、斯テ最勝王ノ令旨ヲ受テ、平家追討ノ企アルニ及テ、闔國早

ク其下風ニ歸ス、當時江戶太郎重長ハ江戶ニアリ○註 時ニ治承四年十月四日、河越太郎重賴、島

山次郎重忠等ト、同ク武衛將軍ノ長井ノ陣ニ參會ス○註 同五日、將軍特ニ命ジテ、當國在廳以下